



健幸都市高石の成果と今後の課題

平成30年7月25日(水)

保健福祉部長 中島 孝

高石市の概要

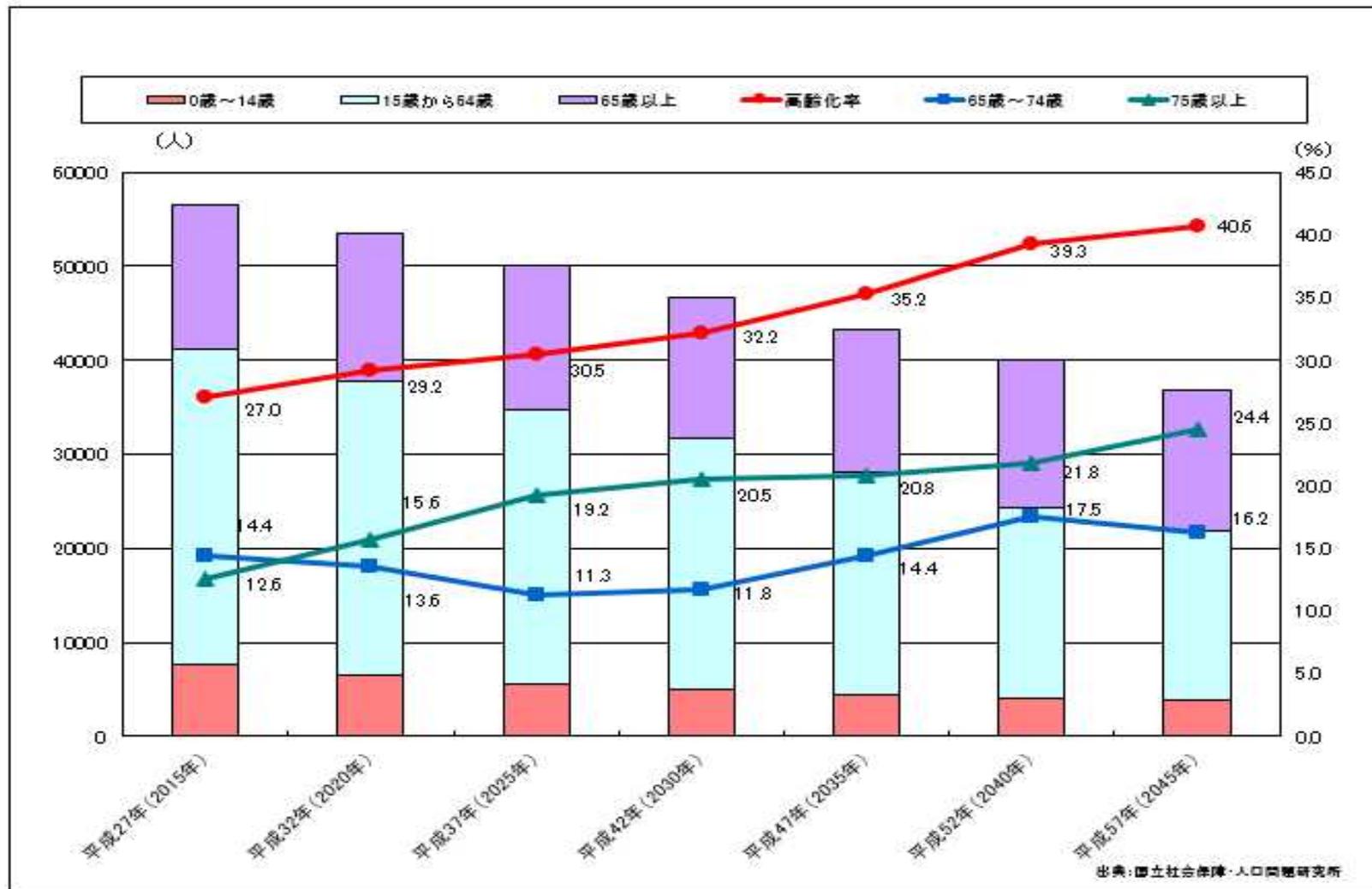
- 人口 57,938人
- 世帯数 25,468 世帯
- 面積 11.30km²
(平成30年6月現在)
- 大阪の中心部（難波駅）まで約15分
- 関西空港まで約30分



日経新聞 何でもランキング 工場夜景きれいなスポット 西日本第5位



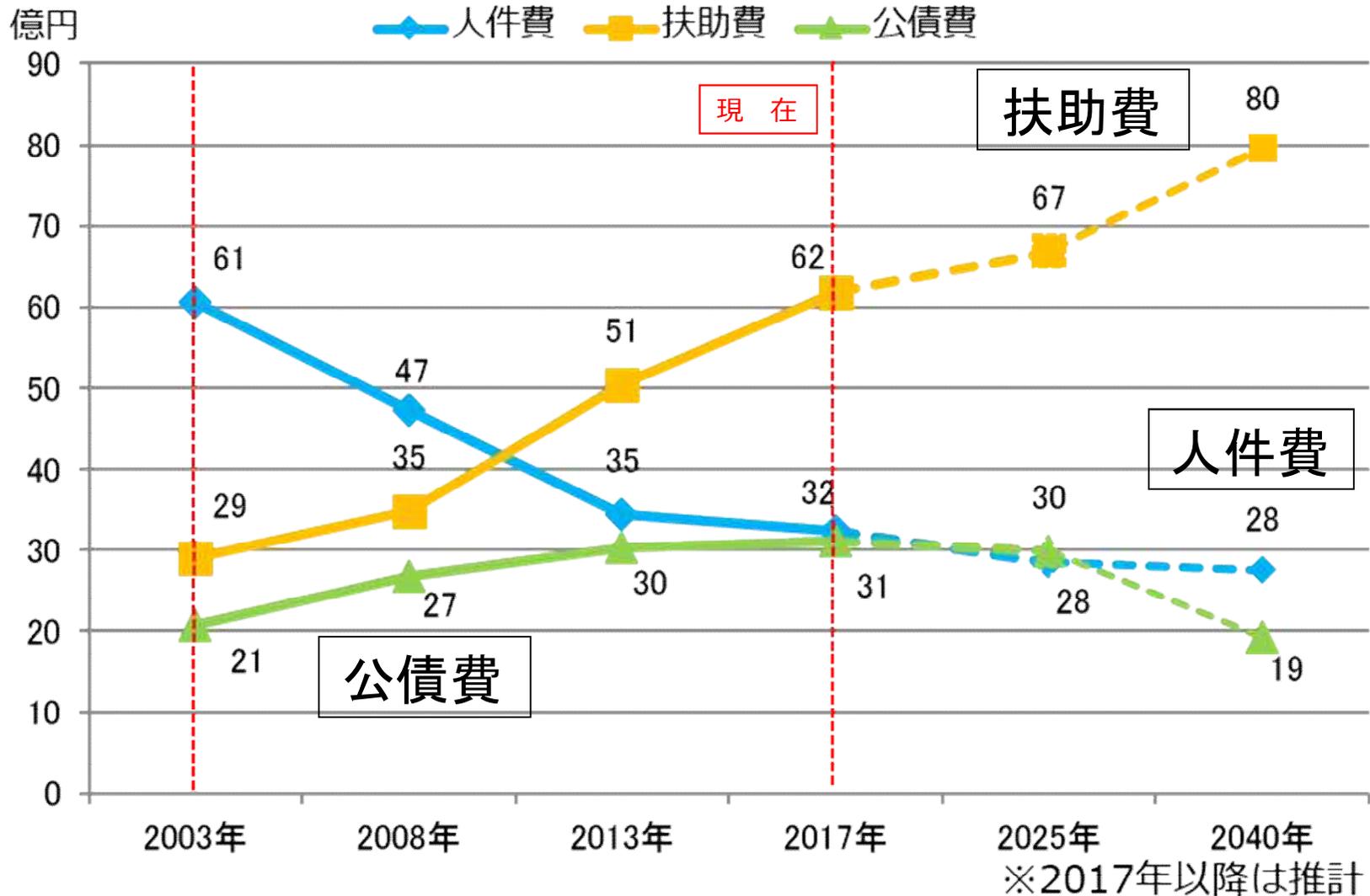
高石市の人口と高齢化率の推移



○生産年齢人口の著しい減少に伴い、高齢化率の上昇が見込まれています。

○2025年には高齢者3人のうち2人が後期高齢者になるとの予測がされています。

高石市の義務的経費の推移と今後の見込み



●市民主体のやさしさと活力あふれる“**健幸**”のまち
 → **第4次高石市総合計画**の策定（平成23年～）

健幸ウォーキングロード

笑顔あふれるウォーキング風景



健幸増進施策

毎日が“元気”健幸ウォーキング (ウォーキング前の健康体操)

- ・市内5カ所で実施。
(浜寺公園健幸広場、芦田川ふるさと広場、鴨公園など)
- ・練功十八法と下肢の軽い筋トレ体操を20分実施後、各ウォーキングコースにて自主ウォーキング。

健幸づくり教室

(中央公民館、スポラたかいし、カモンたかいし)

- 国立筑波大学の久野研究室が監修するe-wellnessシステムを使用
- 参加者の体力年齢の若返り、生活習慣病や介護予防を目的に開催し、教室では有酸素運動・筋トレを実施
- 30歳以上の高石市在住者及び在勤者が対象

LS型(中央公民館)



教室型(カモンたかいし)



教室型(スポラたかいし)





第1回

健幸ポイントプロジェクト

期間：2014.12～2016.12

参加対象者：40歳以上の市民

参加者数：2,055人

使用機器：歩数計を貸与

データ送信拠点：市公共施設4カ所

平成28年度事業費：約3,000万円

文科省、スポーツ庁等の交付金を活用

高石市においては、8割以上



インセンティブは、無関心層の掘り出しに効果的！！

参加者の歩数は、2ヶ月目までに約2,000歩/日増加し、国の推奨活動量8,000歩/日を上回る



平均値を示す。*:時間の経過とともに有意に増加していることを示す。(有意水準1%未満)
 ・H26年度参加者1,090人のうち、参加時～12ヶ月目の全てに歩数データがある対象者633人(58%)を分析した。

本プロジェクト参加者の74%は、運動無関心層や運動不十分層であった。
 自治体別にみても一定の割合(57～81%)で運動無関心層や運動不十分層が参加した。

	全体	浦安市	大田原市	岡山市	高石市	伊達市	見附市
分析対象者	10,040人	1,586人	891人	3,496人	1,416人	1,431人	1,220人
運動無関心層	20%	13%	24%	19%	27%	21%	19%
運動不十分層	54%	44%	48%	55%	54%	59%	60%
運動充分層	26%	43%	29%	26%	19%	20%	21%

運動無関心層、運動不十分層、運動充分層の定義を以下の通りとする

分類	運動無関心層	運動不十分層	運動充分層
推奨活動量	満たしていない (8,000歩/日未満)	満たしていない (8,000歩/日以上)	満たしている (8,000歩/日以上)
スポーツ・運動教室参加状況	参加していない	参加している	-

第1回 健幸ポイントプロジェクトの成果



特定健診の受診や、受診結果の改善・基準範囲の維持に対してポイントを付与することで、**受診率が向上**

一人当たり総医療費の推移

	2013年度	2015年度	医療費増減	一人当たり医療費抑制額
参加者	26.5万円	33.1万円	+6.6万円	7.7万円
非参加者	25.9万円	40.2万円	+14.3万円	

参加者と非参加者で比較すると
一人当たり7.7万円の医療費抑制効果

健幸ポイントプロジェクト終了後の参加者アンケートでは、**70%以上がポイントが半額になっても継続すると回答した。**



健康意識の向上、運動習慣の定着！

第2回

高石健幸ポイント事業

期間：2017.10～

参加対象者：20歳以上の市民

参加者数：現在2,993人

使用機器：活動量計を貸与、又はスマートフォンアプリをダウンロード

データ送信拠点：市公共施設8カ所、**市内郵便局全7カ所**、
池田泉州銀行高石支店 等市内20カ所
及び全国のローソン・ミニストップ

平成30年度事業費：約4,600万円

地方創生推進交付金を活用

拠点別データ送信状況
(2017.10.1～3.31) (延べ人数)

施設名	利用人数
アブラ高石	2,606
ローソン(市内)	2,435
総合保健センター	2,098
ローソン(市外)	1,614
カモンたかいし	1,569
中央公民館	1,206
郵便局	1,106
スポラたかいし	788
取石公民館	568
瑞松苑	304
池田泉州銀行高石支店	137

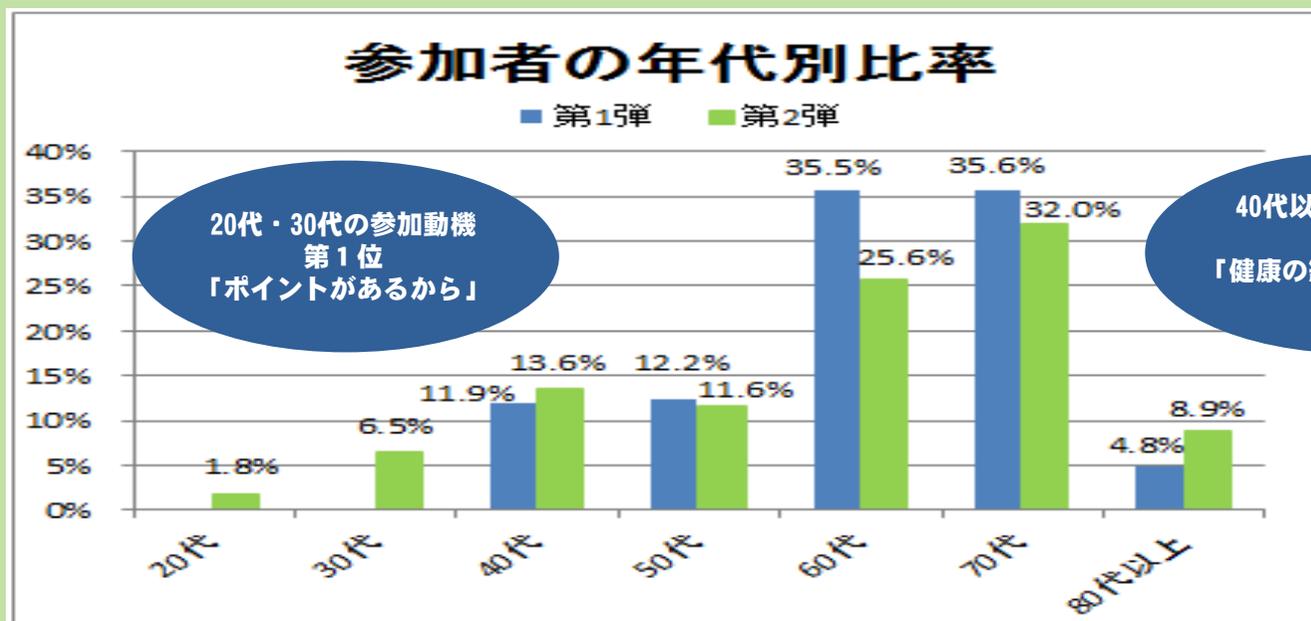
高石郵便局



★新たに**市内の郵便局全7カ所**にデータ送信拠点を設置

今後、生活相談などを行う「我が事・丸ごと」でも連携。

高石健幸ポイント事業の成果と課題



今後の課題

- ・ 高齢者世代である60歳代以上に比べて近い将来高齢者になる団塊ジュニア世代の40～50歳代の参加者が少ない。
- ・ 将来の医療費・介護給付費の抑制を目指すためには、より一層40～50歳代を始めとした若年者層の参加を促すとともに参加者の健康意識の向上に努め身体活動量の増加による生活習慣病予防を図る必要がある。

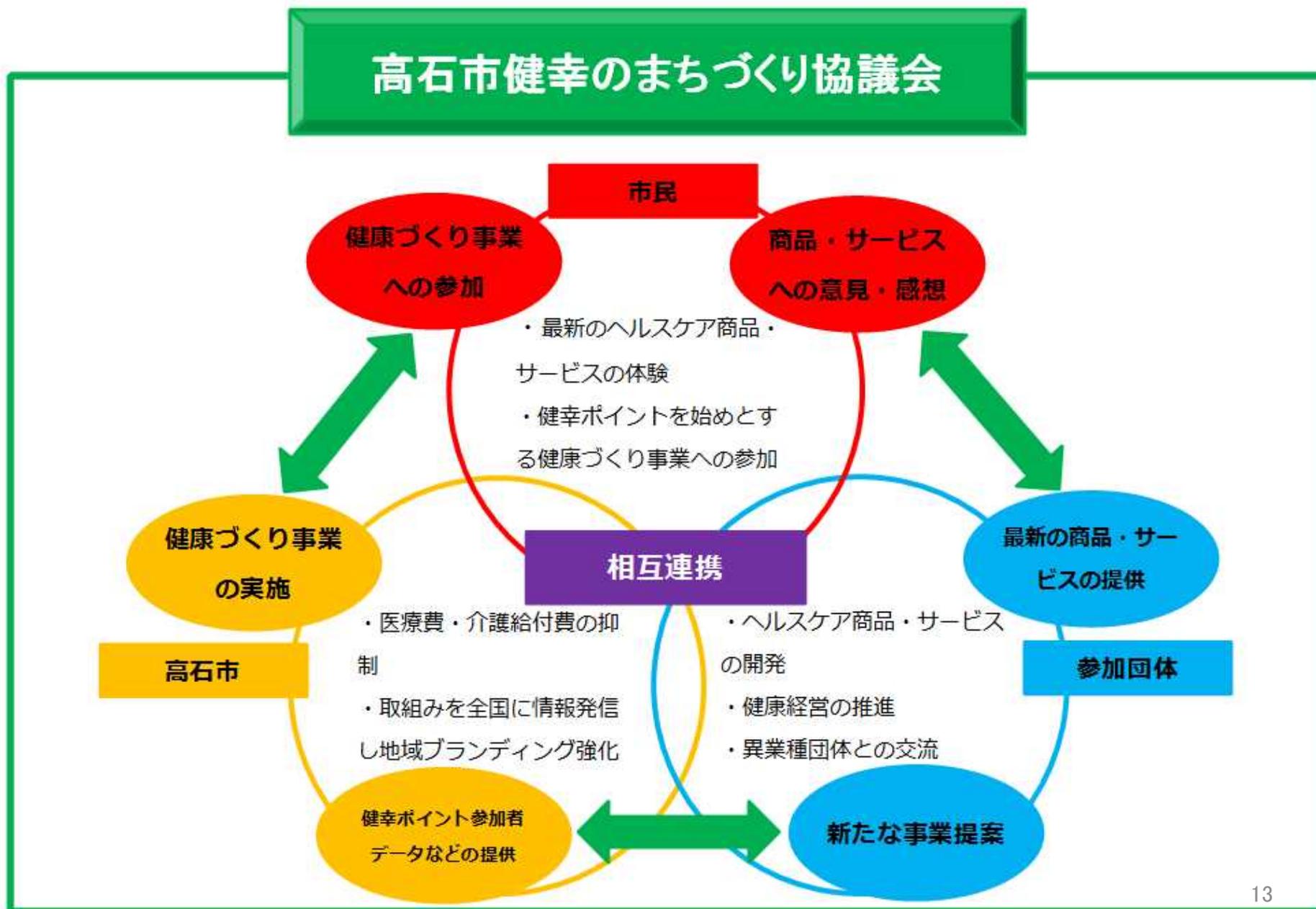
健幸ポイントの交換内容

(単位:円)

商品名	第1弾	第2弾
たかいし共通商品券	15,887,500	5,849,000
アブラポイント	-	195,000
コノミヤ商品券	-	973,000
健康グッズ(タニタ製体組成計 BC508)	-	0
ポインタポイント	1,413,040	-
Amazonギフト券	-	400,500
カタログギフト(3,000円)	-	12,000
カタログギフト(5,000円)	-	0
寄付	947,000	32,500
合計	18,247,540	7,462,000

第1弾では87%、第2弾では94%が地域経済に還元されている！

高石市健幸のまちづくり協議会への参加のメリット



高石市健幸のまちづくり協議会参画団体一覧

80団体

平成30年7月時点

高石市	株式会社エヌジェイ	株式会社弘進製作所	社会福祉法人南海福祉事業会	NPO法人みんなのスポーツ協会
高石商工会議所	株式会社昆虫食のentomo	コガソフトウェア株式会社	司法書士にしおか法務事務所	株式会社メディカ出版
一般社団法人高石市医師会	大阪ガス株式会社 泉北製造所	小園工業株式会社	一般社団法人日本姿勢と歩き方協会	もりしま税理士事務所
高石市歯科医師会	大阪ガスセキュリティサービス株式会社	株式会社コトブキ 関西支店	株式会社日本政策金融公庫 堺支店 国民生活事業	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 大阪南支店
高石薬剤師会	大阪経済大学	株式会社コナミススポーツクラブ	一般社団法人 日本DFWALK協会	有田川町
社会福祉法人高石市社会福祉協議会	大阪国際石油精製株式会社	株式会社コノミヤ	日本郵便株式会社	有田川町商工会
一般財団法人高石市保健医療センター	大阪産業大学	株式会社サザンクロス	NPO法人認知症予防サポートネット	アルカディア・システムズ株式会社
アイグレー合同会社	公益財団法人大阪市都市型産業振興センター	松竹芸能株式会社	株式会社野村総合研究所	株式会社応用社会心理学研究所
アグライア・クリニカルアロマティックラボ株式会社	大阪府国民健康保険団体連合会	全国健康保険協会 大阪支部	株式会社 白寿生科学研究所	株式会社オージースポーツ
アシックスジャパン株式会社	公益社団法人大阪府柔道整復師会	一般社団法人全日本ノルディック・ウォーク連盟	羽衣国際大学	麒麟ビール株式会社
株式会社池田泉州銀行	大阪府立臨海スポーツセンター	高石都市開発株式会社 アブラたかいし	BCC株式会社	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社ベンディング南大阪サントリービバレッジサービス株式会社
いずみの農業協同組合	株式会社オージス総研	竹中行政書士事務所	社会福祉法人福昭会	サントリービバレッジソリューション株式会社
株式会社インサイト	大塚製薬株式会社ニュートラシューティカルズ事業部大阪支店	株式会社タニタヘルスリンク	株式会社ベネフィットワン・ヘルスケア	株式会社JTB西日本
株式会社エクシング	株式会社カーブスジャパン	株式会社つくばウエルネスリサーチ	株式会社ポーネルド	合同会社ジャパンビジネスサービス
NECソリューションイノベータ株式会社	株式会社銀装	東洋ライス株式会社	有限会社MAIDO	スポーツコミッション関西
株式会社NSD	健康科学ビジネス推進機構	凸版印刷株式会社	三井化学株式会社 大阪工場	

協議会の活動について

ソライロマーケットへのブースの出展 (H30.4~)

- ・ 高石駅前広場で開催されるソライロマーケットにブースを出展
- ・ 5月には司法書士事務所が「こころの健幸」をテーマに市民の様々な悩みの相談を受付
- ・ 「健幸づくり教室Mini」として、(株)コナミススポーツクラブに依頼し、健康増進に効果のある体操も実施



高石健幸リビング・ラボ協議会事務局 ワークショップ開催

高石健幸リビング・ラボ 介護予防ワークショップ

高石市ならではの介護予防の製品・サービスを作ろう!!!!

介護の予防をしたらいいけど、何をすればいいかわからないけど
お困りありませんか。話を聞き考えてみよう! 計3回講座・先着順!

日	時	① 1回目●2018年7月20日(金)14:00~16:30
		② 2回目●2018年8月3日(金)14:00~16:30
		③ 3回目●2018年9月25日(火)14:00~16:30
会場	高石市立総合身体センター (9階4号目4-20)	
期 間	形式自由(各回30分)・講義・実習・体験	
定 員	【個別サービスでは全国でも有数の実績を誇る企業様です!】	
定 額	① 高石市にご住所の27歳以上の市民	
	② 企業・NPO・個人事業主等(個人事業主の方(入会費不要))	
	③ テーマ「介護予防」ワークショップ全3回に参加いただける方	
定 員	30名(先着順) ※定員に達し次第、受付終了	
定 額	無 料	
定 員	定 員 30名	
申込方法	①お電話 ②FAX ③事務所窓口申込み ④3通り	
	★お問合せ・申込み詳細は「裏面」をご覧ください!★	

ワークショップで待って...

介護予防の現状や最新の市場動向を伺い、意見を出し合い進めたい!

最先端の最新設備のご意見が企業や行政側に高石市に反映されたい!

参加者は、きっとご自身の身体・健康を一層大切に考えられることができる!

皆様のご参加お待ちしております!

介護予防ワークショップ (H30.7~)

- ・ 大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム (OKJP) と連携
- ・ 市民と企業とが共同してディスカッションを行い、市民目線の製品・サービスを生み出すことを目的

asics × 高石健幸リビング・ラボ

- ・ 「健康的に歩く」をテーマに、アシックスウォーキング教室を開催
- ・ 市民のニーズを踏まえ、事業を検討し、市民と企業がディスカッション

高石健幸リビング・ラボ協議会事務局 ワークショップ開催 健康ウォーキング

asics × 高石健幸リビング・ラボ

ウォーキングのプロに学ぶ / 健康ウォーキング教室 & ワークショップ

参加無料

第1回(対象:市民) 2018年 0月00日 第2回(対象:企業) 0月00日 第3回(対象:市民・企業) 0月00日

定員 30名 ※先着順、定員に達し次第、受付終了

第1回(対象:市民) 0月00日

第2回(対象:企業) 0月00日

第3回(対象:市民・企業) 0月00日

第1回の内容を踏まえ、市民ニーズから事業を検討

第2回の内容を踏まえ、市民ニーズから事業を検討

第3回の内容を踏まえ、市民ニーズから事業を検討

ワークショップでは...

「健康的に歩く」をテーマに、高石市内のウォーキングロードを
活用した市民の健康増進につながる取り組みを考えます!
皆様のご参加 お待ちしております!

要予約 お問合せ・申込み詳細は 裏面 をご覧ください

地域版次世代ヘルスケア産業協議会

高石市健幸のまちづくり協議会は経済産業省が事務局を担う、**地域版次世代ヘルスケア産業協議会**に加盟しています。

地域版次世代ヘルスケア産業協議会とは

- ・ 公的保険外サービスを中心に、健康寿命延伸分野の市場創出及び産業育成を図るため、その対応策を官民一体となって検討することを目的として設置
- ・ 高石市健幸のまちづくり協議会の他、大阪健康寿命延伸産業創出プラットフォーム（OKJP）や松本地域健幸産業推進協議会等40団体が加盟。（平成30年5月末時点）

高石市健幸のまちづくり協議会のPR資料（経済産業省HPに掲載）

高石市健幸のまちづくり協議会

事務局

高石市 保健福祉部 健幸づくり課 スマートウェルネス推進室
TEL : 072-267-1161
FAX : 072-265-3100
E-mail : smart@city.takaishi.lg.jp

- ◆ 地域：大阪府 高石市
- ◆ 設立：平成29年5月29日



協議会の概要

- ✓ 高石市では、市民一人一人が健康で、かつ、生きがいを持ち、心豊かに暮らすことができるまちを創ることを目的として平成29年4月に「高石市健幸のまちづくり条例」を制定し、高石市健幸のまちづくり協議会の設立について規定し、平成30年5月29日に高石市健幸のまちづくり協議会を設立した。
- ✓ 高石市健幸のまちづくり協議会は、健幸のまちづくりの実現のために、行政だけでなく住民、民間企業、関連団体や学術団体など産学民官が一体となって、知恵を出しあい、協議を行う場とすることを目的としている。

主な会員（会員数：78企業・団体 ※平成30年5月23日時点）

行政（部署名）	高石市（保健福祉部、政策推進部）
医療・介護、ヘルスケア関係	一般社団法人高石市医師会、株式会社タナヘルスリンク、BCC株式会社 等
金融機関	株式会社池田泉州銀行、日本郵便株式会社、株式会社日本政策金融公庫 等
大学・研究機関	大阪産業大学、大阪経済大学、羽衣国際大学
その他	高石商工会議所、三井化学株式会社 大阪工場、株式会社野村総合研究所 等

PRポイント

- ✓ 協議会事務局である高石市では、市政の重要政策のひとつとして「**健幸のまちづくり**」を推進。
- ✓ 新たな商品・サービスに対して市民参加による実証の場を提供する「**高石健幸リビング・ラボ**」を創設。健幸モニターとして登録した市民が、ヘルスケア産業分野における商品・サービスの創出を目指す企業に対してユーザー目線の意見を提供し、自らのテストフィールドを持たない企業でもニーズの把握が可能に。また、**ワークショップの開催**により、ひとつのテーマに対して市民を交えてより深い議論・検討を行うことが可能。
- ✓ 様々な資格やノウハウを持つ人材に登録いただき、それを必要とするヘルスケア事業者とのマッチングを支援する「**人材バンク**」を運営。その知識・経験を生かしてより良い商品・サービスの開発をサポート。

その他の活動実績

- ✓ **新たなリハビリサービスの創出支援**
運動機能の回復に重点を置いた従来のリハビリサービスではなく、利用者が「生きがい」を捉えなおすことができるプログラムの開発について、ワークショップを実施し、議論・検討を行った。
- ✓ **高石健幸モニターフェスタの実施**
健幸モニターを対象としたモニターイベントを開催。協議会会員である8団体が出展し、自社製品を実際に試用してもらい、その使用感等についてのフィードバックを得たり、セミナーを開催し、自社の商品や考え方についてPR。



人材バンク登録者募集チラシ



ワークショップ開催時の様子